

1. 調査実施者（記入者）【生活介護あーとりんく サービス利用アセスメント表】

実施日	令和8年8月1日		
記入者氏名	佐和田 弁慶	所属機関	生活介護あーとりんく

2. 調査対象者

対象者氏名	かなやま ときお 金山 時生	(男・女)	生年月日	平成5年12月12日生
現住所	Z県Z市			

3. 障害者手帳等級及び支援区分等

障害種別	知的障害	等級及び支援区分	療育手帳 B 支援区分3
------	------	----------	--------------

1・生育歴に関わる状況

(生育歴)
Z市で出生。初語や歩行は少し遅かったが、健診等での指摘はなし。小学校入学時は普通学級だったが、学習面の遅れ等から小学3年生進級時に特別支援学級へ転籍。中学校はY特別支援学校中学部へ進学。そのまま同校高等部に進学。高等部卒業後は、就労継続支援B型事業所あーとわーくすに通所。

在胎期	期間	10ヶ月	異常	有 ・ (無)		
	特記事項					
出生時	異 常	有・(無)	特記事項			
乳幼児期	始歩	1歳6ヶ月	特記事項			
	発語	1歳8ヶ月	特記事項			
	その他特記		特記事項			
学校・施設等の 利用履歴	年月～年月	学校等利用機関名		特記事項		
	平成12年4月	Z市立A小学校入学		小学3年生から特別支援学級在籍		
	平成18年4月	Z県立特別支援学校中学部入学				
	平成21年4月	Y特別支援学校高等部入学				
	平成24年3月	Y特別支援学校高等部卒業				
	平成24年4月	就労継続支援B型事業所あーとわーくすに通所開始				
	令和8年5月	就労継続支援B型事業所あーとわーくす退所				

2・健康状態などその他特記事項

(健康・医療) 身長175cm。体重80kg
・若年性パーキンソン病（2カ月に1回通院）服薬あり（レボドパ製剤・ドパミン受容体作動薬・抗コリン薬、1日2回 朝・夕）
・眠剤の服薬あり（マイスリー）
・好きな食べ物：からあげ、ラーメン、チョコレート

3・家族状況

氏名	続柄	特記事項
金山 カンゾウ S35.5.5	父	66歳。保険会社の営業を長年務める。定年退職後、事務職として再雇用された。行政手続などを行っている。
金山 加茂子 S38.7.7		
金山 時生 H5.12.12生	本人	32歳。療育手帳B所持。金銭管理は仕訳を手伝えばその金額の中で使用することは可。ただ、欲求が強くなると浪費してしまうことがある。

【利用者の生活・行動等に関するアセスメント調査 1】

(生活介護あーとりんく アセスメント表)

領域	項目	支援項目		支援度					特記事項		
				1・支援なし	2・見守り・声掛け支援	3・一部間接支援	4・一部直接支援	5・全支援			
1	生活基盤	1	経済状況		○				障害基礎年金 2 級受給		
		2	住宅環境	○					両親と一戸建ての住宅で暮らしている。		
2	健康管理	1	服薬管理		○				自分でできるように練習しているが、時々忘れる		
		2	通 院					○	2カ月に一度、母と共に通院。		
		3	発作対応						非該当		
3	日常生活動作	1	食事摂取		○				嫌いなものを残そうとすることがあり、声かけが必要		
		2	排 尿	○							
		3	排 便	○							
		4	歩 行	○					ふらつきあり		
		5	移 乗	○							
		6	入浴・洗体		○				自分で洗うことができるが、洗い残しがある		
		7	入浴・洗髪		○				自分で洗うことができるが、洗い残しがある		
		8	洗 顔		○				自分で洗うことができるが、洗い残しがある		
		9	衣類着脱	○							
		10	履物着脱	○							
		11	歯磨き		○				面倒なのか声掛けをしないと忘れてしまうことがある		
4	衛生	1	清潔保持		○				汚れていても着てしまうことがある		
		2	整容		○				寝癖がついたままでも気にしない		
		3	爪切り		○				爪が長いままのことがある		
		4	掃除			○			自主的にはしないが、声掛けがあればすることができる		
5	家事	1	洗濯					○	経験はない。		
		2	調理					○	経験はない。		
		3	その他 育児等						非該当。		
6	社会生活	1	日常の意思決定			○			初対面や緊張場面では萎縮してしまう。		
		2	金銭管理				○		以前使い込んでしまったことがあり、お小遣いとして数千円管理している		
		3	財産管理					○	父が年金等を管理している。		
		4	買物(選択)		○				コンビニ等でお菓子等を購入することができる		
		5	金銭支払				○		大きいお金で払ってお釣りをもらうことが多い。		
		6	地元の地理等の理解			○			同一町内であれば自分で動くことができる		
		7	交通機関の利用			○			経験のある区間であれば利用可		
		8	電話の利用			○			電話をかけることはできるが、会話は苦手		
		9	持物管理				○		よく忘れ物をする。整理整頓は苦手		
		10	予定等の計画				○		毎日決まったことであれば可能。突発的な予定の対応が苦手		
7	活動交流	1	意思疎通			○			理解できていないことでもうなずいてしまうことがある		
		2	対人関係			○			受け身的な性格。		
		3	外出活動			○			一人で出かけることはほとんどない		
		4	余暇活動		○				プラモデルや折り紙など、手先を使う活動が好き。		
		5	近隣との付き合い				○		近所の人とは顔見知り。付き合いは挨拶を交わす程度である。		
		6	就労			○			就労継続支援 B 型事業所への通所経験あり		
8	安全管理	1	火気管理					○			
		2	戸締り					○			
9	その他	1	緊急時対応					○			
		2	家族関係	○					両親と生活。		
		支援項目		ない	時々ある	ある	支援項目		ない	時々ある	ある
10	問題行動	1	ひどい物忘れ	○			12	支援者の関わりへの抵抗	○		
		2	周りのことに対する執着	○			13	目的もなく動き回る	○		
		3	物を盗まれた・叩かれたなど被害的になることが	○			14	自傷行為	○		
		4	現実にはない話を作話する	○			15	他者に対して暴力行為を行う	○		
		5	幻覚や幻聴	○			16	周囲が困惑する性的行動	○		
		6	泣いたり笑ったり情緒が不安定	○			17	一人で外に出ていくなど目が離せない	○		
		7	同じ話をしたり不快な音	○			18	大声を出す・大泣きするなど著しい騒がしさ	○		
		8	他人のものの金品等を盗む	○			19	物や衣類を壊す行為	○		
		9	いろいろ集めたり無断で持ってくるものが	○			20	故意と思われる尿・便失禁することが	○		
		10	昼夜逆転・睡眠の乱れ			○	21	不潔な行為(便をなすりつける等)	○		
		11	周囲が予測できない急な飛び出し	○			22	食べられないものを口に入れることの状況	○		

【利用者の生活・行動等に関するアセスメント調査2】（生活介護あーとりんく アセスメント表）

				利用者氏名	金山 時生さん
意思疎通について	項目	内容	チェック (○・×)	特 記	
	意思伝達	言葉で意思伝達する	○	理解できていなくても「はい」と返事をしてしまうことがある。 好きなことは一方的に話すことがある。 自分から積極的に質問するタイプではない。困ったことや心配なことがあっても、自ら相談することができない。	
		サインやカードで伝達する			
		身振り手振りで伝達する			
		動くことによって伝達する			
		実物を示して伝達する			
		その他			
	理解について	時間の概念	○	理解できる。	
		毎日の日課	○	理解できる。	
		生年月日や年齢を答える	○		
		自分の名前を答える	○		
		自分の名前を書く	○	簡単な漢字であれば書ける。	
		自分の今いる場所を答える	○	自宅など慣れている場所はわかる。	
		自分の住所	○		
相手の言葉の理解	理解できる		分かりやすい言葉を使う配慮が必要。 あまり興味のない内容は注意を向ける必要がある。		
	ところどころ理解する	○			
	会話・言葉が通じない				
読字について	・漢字 ・カタカナ ・ひらがな ・数字 ・理解できない				
余暇・趣味	項目	内容	チェック (○・×)	特 記	
		趣味など楽しみにしていること	○	プラモデルや工作が好きだが、病気の影響で利き手の震えがあり、以前ほど集中して楽しめなくなった	
		現在参加しているレクリエーション	×		
		現在楽しみにしている外出先	×	外出はコンビニ等におやつを買いに行く程度	
		現在参加している当事者団体活動もしくは各種社会的活動	×		
		傾聴ボランティアなどの関わり	×		
		その他			
家族状況特記事項	主たる介護・援助者の状況	父 66 歳。就労有。行政手続などを行っている。母 63 歳。パート勤務。主に家事を担っている。			
	介護・援助上の問題点	今まで家事は父母がやってくれていた。家のことを少し手伝ったこともあるが、どのように進めればよいのかわからなくなってしまうこともたびたびあった。時生さんは積極的に身だしなみを整えたり、片付けたりすることは苦手。声をかければ何とか自分で行える。整理整頓も苦手な部屋は小物類が溜まってしまう。日常生活でやらなければならないことの優先順位を付けられない。家事は経験がないが、援助があればできるようになると予測できる。			
	家族関係および障害の理解	父母は時生さんのことをかわいがっており、時生さんの将来を心配している。父母ともに時生さんの障害や病気の理解に努めている。時生さんの金銭管理については父が、服薬管理については母が主に行っている。			
行動記面で頂の	性 格	初対面や緊張する場面では萎縮してしまう。			
	情緒面	思い通りにならないことが続くと、イライラして相手を叩こうとすることがある。			
	こだわり等	好きなことに熱中していると、中々切り替えが出来ないときがある。			
	パニック等	特になし。			
本人・家族の意向		本人：親に迷惑をかけたくない、元気に通所したい、新しい楽しみを見つけたい。 父母：若年性パーキンソン病が進行し、元気がなくなってしまった本人のことが心配。B 型事業所を退所してからは、家で退屈そうにすごしていることも気がかり。以前のように元気に通所してほしい。			
サービス管理責任者の所見		金山 時生さんは、若年性パーキンソン病の症状により趣味が楽しめなくなってしまったことに大きなショックを受けている。B 型事業所を退所し、在宅中心の生活になったことで、生活リズムの乱れも見られる。まずは当事業所に通所することで、生活リズムを整えつつ、本人が楽しめる活動を探していけるとよいだろう。またリハビリ活動を提供し、身体機能の維持や動作改善に努めたい。			

【施設名等の名称はすべて仮称です】

生活介護 あーとりんく 概要

【住所】

Z 県 Z 市〇〇町 1 丁目 2 番 3 号

【職員】

管理者：佐和田 海

サービス管理責任者：佐和田 弁慶

生活支援員 5 名

看護師 1 名（午前のみ） 作業療法士 1

名（週 1 回） 理学療法士 1 名（週 1 回）

【定員】

20 名（1 日平均利用者 18 名）

【登録者】

37 名

【事業内容】

○バイタルチェック

○アート活動（絵を描く、創作等）

○レクリエーション

○ウォーキング

○リハビリ（週 2 回程度）

【その他】

○利用者は ADL が自立している人が多い

○車椅子の方や強度行動障害の方も数人いる

○OGH から通いの人もいる

○送迎あり（希望制）

○昼食は弁当配達 午後から喫茶あり

【計画相談支援資料】

申請者の現状(基本情報) 【現在の生活】

利用者氏名	金山 時生			障害支援区分	区分3		相談支援事業者名	相談支援センターNGSK
							計画作成担当者	亀田 太郎

	月	火	水	木	金	土	日・祝	主な日常生活上の活動
6:00								居間でテレビを観たり、自室でYouTubeを観たりして過ごすことが多く、活動範囲は自宅内にほぼ限られている。 父母が仕事に行っているときは一人で過ごしている。 昼食は母親が朝作り置きをしている物やカップラーメンを作って食べる。
8:00	7:00頃 起床 朝食の後、再び入眠							
10:00	10:00頃 起床 着替え							
12:00	自宅でテレビ・YouTubeを観て過ごす							
14:00								
16:00								
18:00	19:00頃 夕食 テレビなどを観て過ごす							週単位以外のサービス
20:00								
22:00								
	20:00頃より 入浴							
0:00	入眠できないときは睡眠薬(頓服)を服用している。YouTubeを観て過ごしている							
	0:00頃 入床 入眠							
2:00								
4:00								

サービス等利用計画・障害児支援利用計画【週間計画表】

利用者氏名(児童氏名)	金山 時生	障害支援区分	区分3	相談支援事業者名	相談支援センターNGSK
障害福祉サービス受給者証番号		利用者負担上限額		計画作成担当者	亀田 太郎
地域相談支援受給者証番号		通所受給者証番号			
計画開始年月	令和8年8月1日				

	月	火	水	木	金	土	日・祝	主な日常生活上の活動
6:00								平日は、生活介護事業所に通う 週末は、近くのコンビニ等にお菓子などを買いに外出する。
	7:30 起床							
8:00	8:00 朝食 通所準備・身支度					8:30～9:00頃 起床		
10:00	9:45～16:00 日中 通所(生活介護事業所)にて健康管理、リハビリ、活動に参加。					自宅で過ごす。時々、近所に外出。		
12:00								
14:00								
16:00								
	16:30頃帰宅							週単位以外のサービス
18:00	帰宅後は、夕食までの時間は居間でテレビを観て過ごす。							2カ月に1回は、母と一緒に定期的に通院をしている
20:00	19:30頃 夕食							
	20:30頃 入浴 入浴後はYouTubeなどを観て過ごす							
22:00	22:00～23:00頃 入床							
0:00								
2:00								
4:00								

サービス提供 によって実現 する生活の 全体像	時生さんが生活介護を利用することで、安心できる環境の中で心身の健康を維持し、自分のペースで過ごしながら、社会とのつながりや役割を感じられる生活を送ることができる。また、日中活動を通して生活リズムを整え、無理のない範囲で好きなことや得意なことを活かすことで、自信と充実感を得られることが期待できる。 ご家族にとっても安心できる環境が整い、共に安定した暮らしを築けるようになる。
----------------------------------	--

サービス等利用計画・障害児支援利用計画

利用者氏名(児童氏名)	金山 時生	障害支援区分	区分3	相談支援事業者名	相談支援センターNGSK			
障害福祉サービス受給者証番号		利用者負担上限額		計画作成担当者	亀田 太郎			
地域相談支援受給者証番号		通所受給者証番号						
計画作成日	令和8年8月1日	モニタリング期間(開始年月)	令和8年9月	利用者同意署名欄				
利用者及びその家族の生活に対する意向(希望する生活)	時生さん 「お父さんお母さんに迷惑をかけたくない。」「家にいてもつまらない。以前のように楽しく通所したい。」「楽しいことをしたい。また、上手にプラモデルを作りたい。」「友達ができたら嬉しい。」「楽しく話ができる友達がいたら最高。」と思っている。 ご両親 「若天性パーキンソン病が進行し、元気がなくなってしまった時生のことが心配。」「B型事業所を退所してからは、家で退屈そうに過ごしていることも気がかり。」「以前のように元気に通所してほしい。」と考えている。							
総合的な援助の方針	心身の健康を維持しながら、通所を通じて生活リズムを整え、楽しみを見つけながら人との関わりに慣れていく。得意なことを活かして自信をつけ、自分の気持ちや困りごとを相談できるようにし、「お父さんお母さんに迷惑をかけたくない」という思いが実現できるよう支援する。							
	長期目標	①生活介護事業所への通所を通して、生活リズムを整え、安定した生活を送れるようにする。②健康面の維持を目指しリハビリに継続的に取り組む。③事業所での人との交流を通じて、話し相手や気軽に相談できる友人関係を築く。④活動を通じて、趣味を楽しめるような機会を増やす。						
	短期目標	①生活介護事業所の活動に慣れ、楽しく通所できるようにする。②リハビリに週2回参加し、体力や身体機能の維持を図る。③思い通りにいかないときや困ったときに、職員に自分の気持ちを伝える。④活動に参加して、楽しめることを少しずつ見つけていく。						
優先順位	解決すべき課題(本人のニーズ)	支援目標	達成時期	福祉サービス等		課題解決のための本人の役割	評価時期	その他留意事項
				種類・内容・量(頻度・時間)	提供事業者名(担当者名・電話)			
1	通所して楽しくすごしたい。	楽しく生活介護事業所へ通えるようになる。	12カ月	生活介護事業所 月～金	あーとりんく サービス管理責任者 佐和田 生活支援員〇〇	間に合うように起きて、事業所に 通い活動に参加する。	3ヶ月	* 朝なかなか起きることができない * 家庭と連携を取り様子も含め支援していく
2	元気に通所したい。	リハビリに参加して体力や身体機能の維持を図る。 バイタルチェックをし、健康に過ごす。	12ヶ月	生活介護事業所 週2回 病院 2カ月に1回	あーとりんく作業・理学療法士 〇〇 〇 〇、看護師 〇〇 相談センターNGSK 亀田 W病院 〇〇	週2回のリハビリに参加する。 バイタルチェックを行う。 服薬をして定期的に通院する。	3ヶ月	* 若天性パーキンソン病による身体的制限(右手の振戦)があるため、無理なくできる内容、方法で行う
3	友達ができたら嬉しい。	自分の気持ちを職員に伝えられるようになる。	6カ月	生活介護事業所 月～金 相談支援事業所 随時	あーとりんく 生活支援員〇〇 相談センターNGSK 亀田	思い通りにならないときや困った時、職員に声をかける。	1ヶ月	* 悩み事を言葉にできない * 人見知りな面があるが、信頼関係を築けると素直に関わることができる
4	好きなことや楽しいことを見つきたい。	自分が楽しめる活動に取り組めるようになる。	6カ月	生活介護事業所 相談支援事業所	あーとりんく 生活支援員〇〇 相談センターNGSK 亀田	「やってみたい」「楽しい」と思える活動に参加する。	3ヶ月	* 意欲的に関わられるよう時生さんのペースと興味を尊重する
5								
6								